

公印省略

27農林試第2542号

平成27年9月2日

各関係機関団体の長

殿

各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長

(福岡県病虫害防除所)

注意報第3号

水稲のいもち病[穂いもち]の発生(第3報)について

水稲のいもち病については、平成27年8月10日付け注意報第2号で注意喚起したところです。8月5半旬の葉いもち調査では、停滞型病斑が中心でしたが、依然として発病株率は20%と平年値の6.7%に比べて高くなっています。また、8月5半旬調査で出穂を確認した地点を対象に緊急的に実施した9月1日の穂いもち調査では、発病穂率3.7%と平年値の0.2%に比べ高くなっています。

更に、9月2日以降の天気予報からも、いもち病の感染に好適な気象条件が継続する見込みであるため、中晩生品種でも穂いもちの多発が懸念されます。このため、葉いもちの発生が確認されるほ場では、穂揃期の穂いもち防除を徹底してください。

- 1 作物名 水稲
- 2 病虫害名 いもち病(穂いもち)
- 3 発生地域 県全体
- 4 発生量(現況) 平年より多・前年並
- 5 注意報の根拠

(1) 移植時期の早い品種について穂いもちの定点調査をした結果、発病穂率は3.7%と平年より高く、前年並であった。

発病穂率 3.7% (平年 0.2% 前年 2.9%)

注) 平年、前年は9月2半旬調査。調査地点、品種は今回の調査とは同一ではない。

(2) 8月31日、定点調査地点以外で県北、県央を中心に穂いもち発病状況を調査したところ、28地点のうち16地点で穂いもちの発生を確認した。

(3) 福岡管区气象台が9月2日5時に発表した福岡県の週間天気予報によると、前線

や湿った空気の影響で曇りや雨となる日が多く、気温は平年より低く、降水量は平年より多いとなっている。

- (4) 向こう1か月の気象予報では、平均気温は平年並か低く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年より少なくなっている。

9月1日の穂いもち調査結果（定点46地点のうち8月5半旬に出穂を確認した10地点）

	調査地点	品種	発病穂率	葉いもち発病株率(%) (8月5半旬)
1	小倉南区合馬1	夢つくし	2.8	24
2	小倉南区合馬2	夢つくし	5.5	76
3	嘉麻市中益1	元気つくし	0.5	100
4	嘉麻市中益2	元気つくし	0	100
5	東峰村小石原1	夢つくし	8.5	88
6	東峰村小石原2	夢つくし	0.9	20
7	東峰村福井1	つくしろまん	0.2	0
8	東峰村福井2	つくしろまん	0.4	4
9	遠賀町木守1	夢つくし	8.4	4
10	遠賀町木守2	夢つくし	10.3	40

6 防除上注意すべき事項

- (1) 穂いもちは、発生後の防除が困難であるため、葉いもちの発生が確認されるほ場では、臨機に穂揃期の防除を徹底する。
- (2) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を順守する。
- (3) 今後の発生状況については、防除所ホームページ
(<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。



止葉の葉いもち病斑



穂首にできたいもち病斑